

陳 情 文 書 表

(教育委員会)

受 理 番 号	1 1 7	受 理 年 月 日	令 和 2 年 10 月 22 日
件 名	西陵中学校区における小中一貫教育校創設に係る要望書の提出反対		
要 旨	<p>西陵中学校区に小中一貫教育校（以下「小中一貫校」という。）を2025年度を目途に新設するために西陵中学校区小中一貫教育校創設協議会（以下「創設協議会」という。）は10月29日に、福西小学校を竹の里小学校に一次統合するための要望書を提出するが、10月の竹の里地域自治連合会（以下「自治連」という。）会議で本会は要望書の提出を認めないことを発言した。</p> <p>その理由は次のとおりである。2019年3月に小中一貫教育校創設のために、自治連は竹の里小学校で一度きりの竹の里住民（以下「住民」という。）の説明会を開催した。しかし、参加者から多様な意見、疑問が出された。自治連の2役、京都市教育委員会（以下「市教委」という。）の方も参加者として承知済みである。同年6月に西陵中学校区小中一貫教育校創設準備会（以下「創設準備会」という。）を発足し、住民からの意見や疑問を聴く窓口を竹の里小学校、福西小学校及び西陵中学校に限定した。2019年度の本会定期総会で竹の里小学校の統廃合と小中一貫教育校創設に関して住民の意見や疑問をまとめる要望が出された。2020年度にはそれを継承し、その方向性を検証するために住民アンケートを同年5月に実施した。住民の多様な意見、疑問を踏まえ同年7月に創設協議会だよりを本会が配布すること等に説明を求め、創設協議会副代表（代表代理）と懇談を開催した。明確な回答を求めたが、今日に至るまで文書による創設協議会代表からの回答はない。創設協議会はコロナ禍の中でも開催され、自治連会議で「開催しました」と報告があるだけである。</p> <p>本会としては、小中一貫教育校創設に関する児童、生徒の安心、安全について西京警察署と9月に懇談した。10月27日には防災の視点で西京消防署洛西消防出張所の署員と懇談する。竹の里小学校は避難所としても様々な地域住民の方の居場所としてその役割を果たすため、環境を整えていく必要がある。本会は懇談等の内容や検証されたことは自治会ニュースと回覧を通して住民に情報を提供している。しかし、この1年6箇月を過ぎても創設協議会（創設準備会）は創設協議会だよりの配布による情報提供のみで住民の多様な意見や疑問に答えることなく、住民との双方向の協議に真摯に向き合う姿勢がない。2019年7月に市教委へ自治連、福西学区自治連合会が小中一貫校創設のための統合要望書を提出したことについても拙速といさめた経過もある。</p> <p>ついでに、本会は検証、議論中であり、今回の一次統合校の要望書提出は断じて認めない。</p>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	教 育 福 祉 委 員 会		